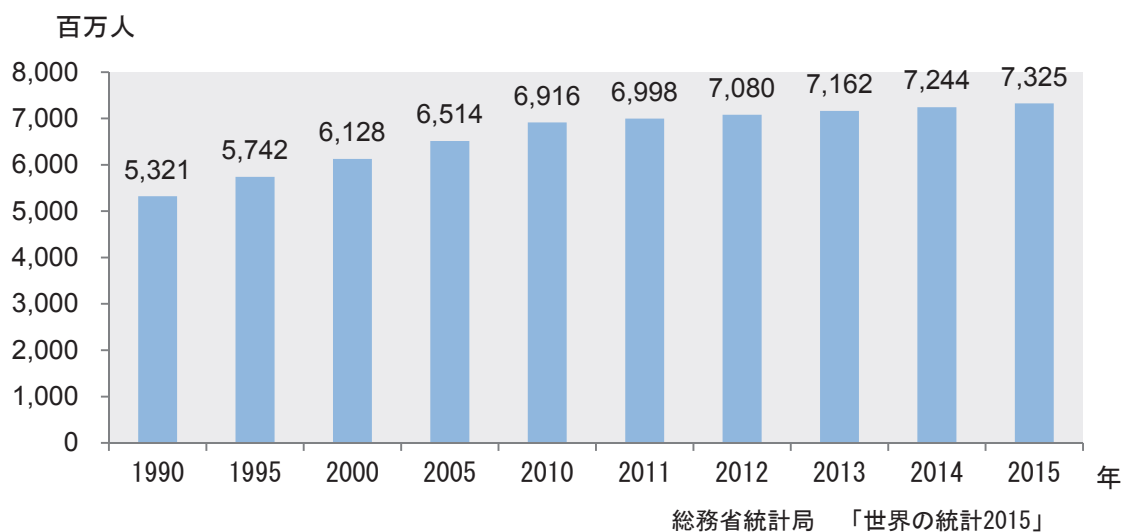


## 4章 統計で見る国際化の現状

統計から世界、日本、大分県、大分市の現状を紹介します。

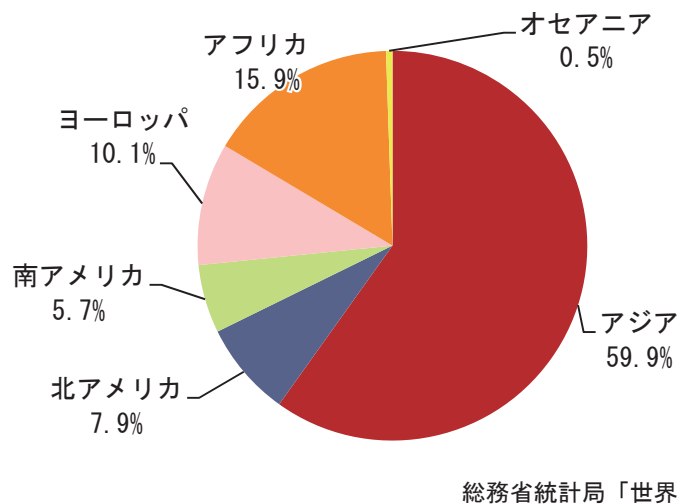
### 1. 世界の人口

世界の人口の推移



一貫して増加しており、近年は1.2%程度の増加を維持しています。

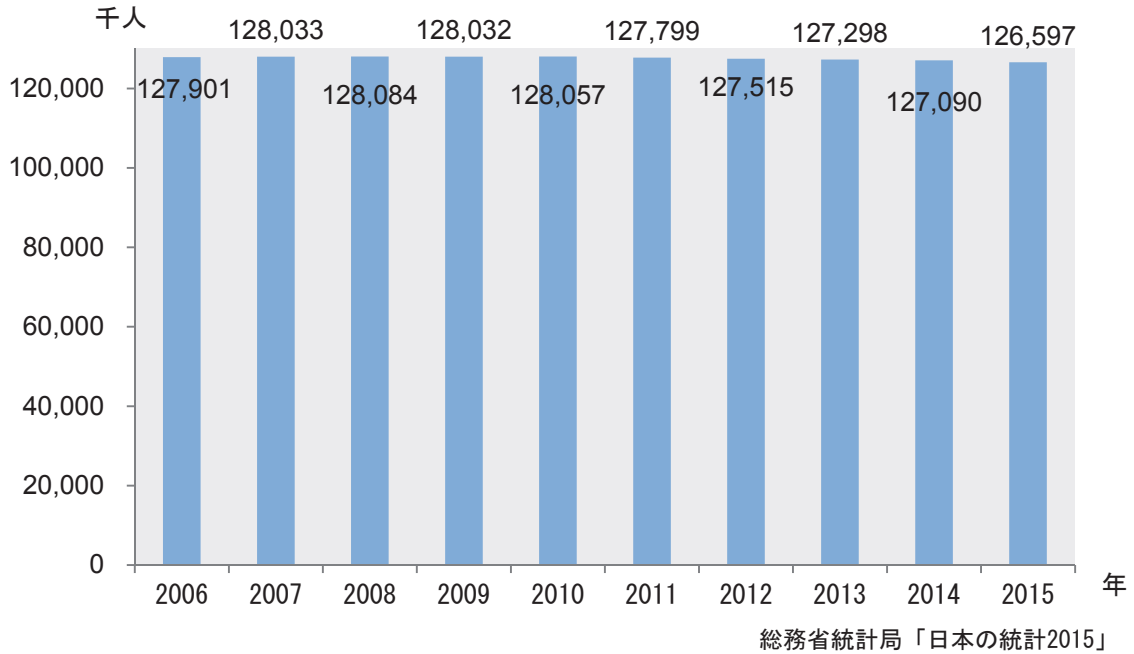
2015年 地域別の世界の人口構成



世界の人口の半数以上をアジアが、次いでアフリカが1/6程度を占めます。

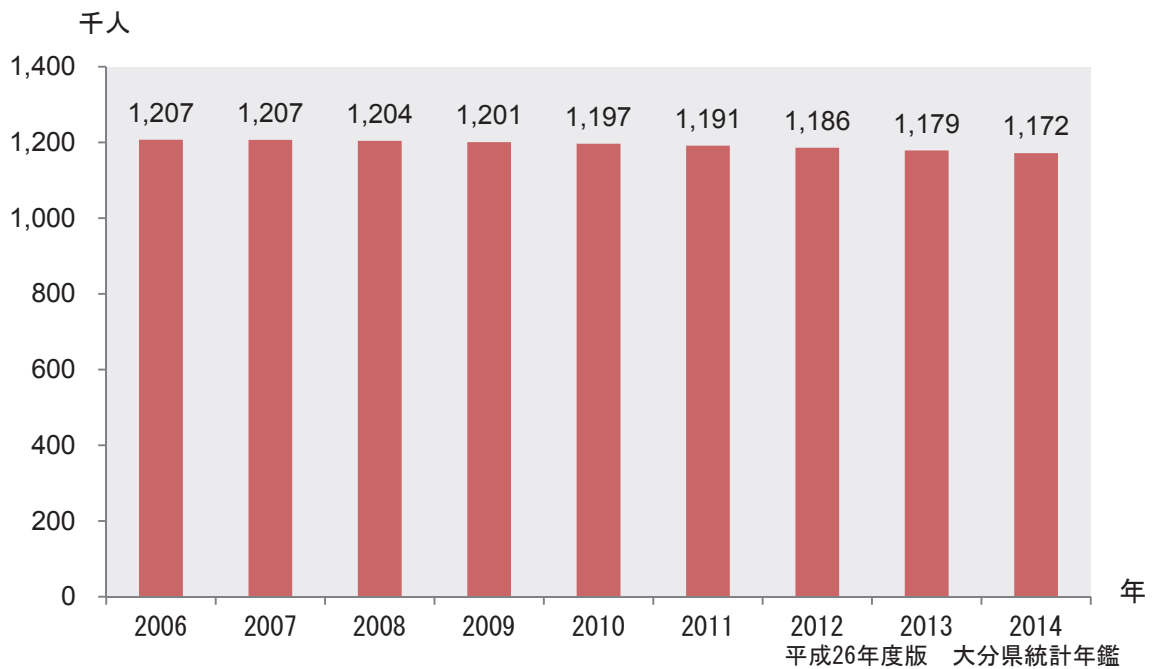
## 2. 日本・大分の人口

### 日本の人口の推移



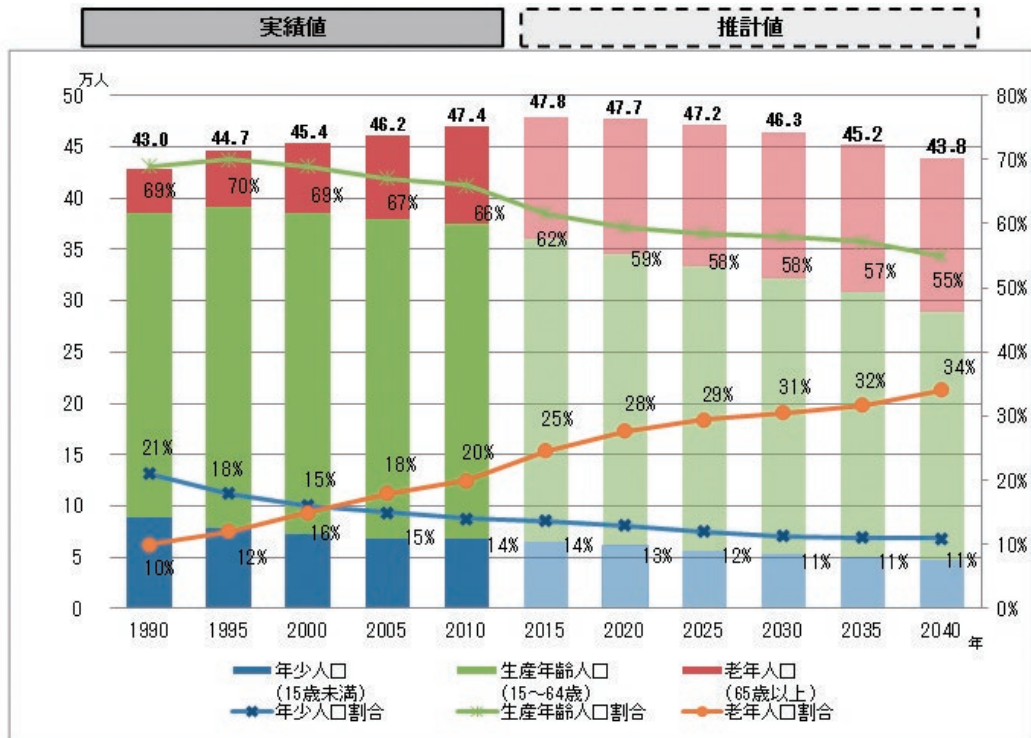
微増傾向が続いていましたが、2008(平成20)年をピークに減少傾向に転じています。

### 大分県の人口推移



近年は減少傾向にあり、2010(平成22)年には35年ぶりに120万人を下回っています。

## 大分市の人口推移と予測

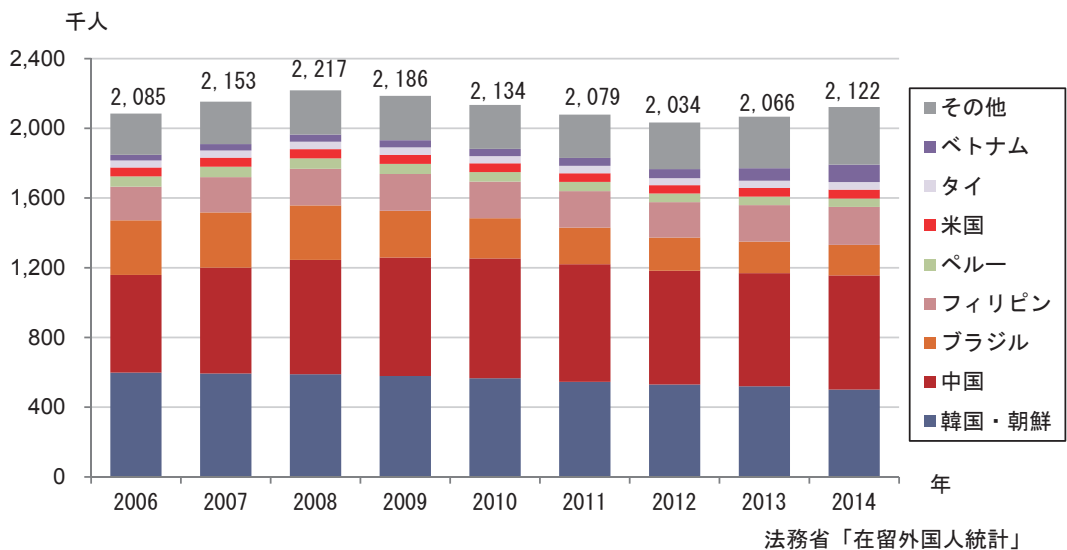


※2010（平成22）年まで総務省統計局「国勢調査」（2015（平成27）年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計）  
2000（平成12）年以前の人口は、旧佐賀関町、野津原町の人口を含む

人口は2015(平成27)年をピークに減少が予測されています。1990(平成2)年には7割近かった生産年齢人口も2020(平成32)年には6割を切ることが予測されています。

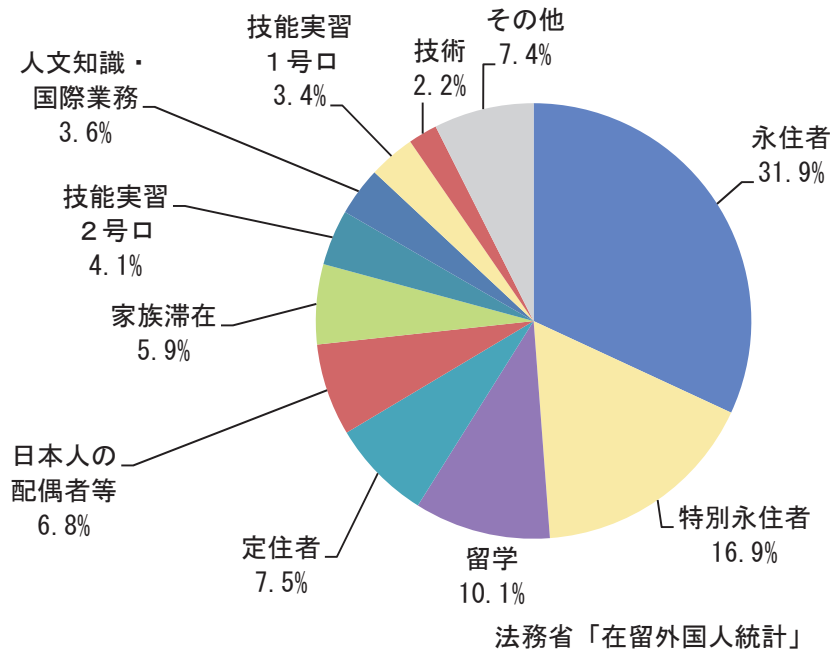
## 3. 日本に住む外国人数

### 日本に住む外国人数の推移



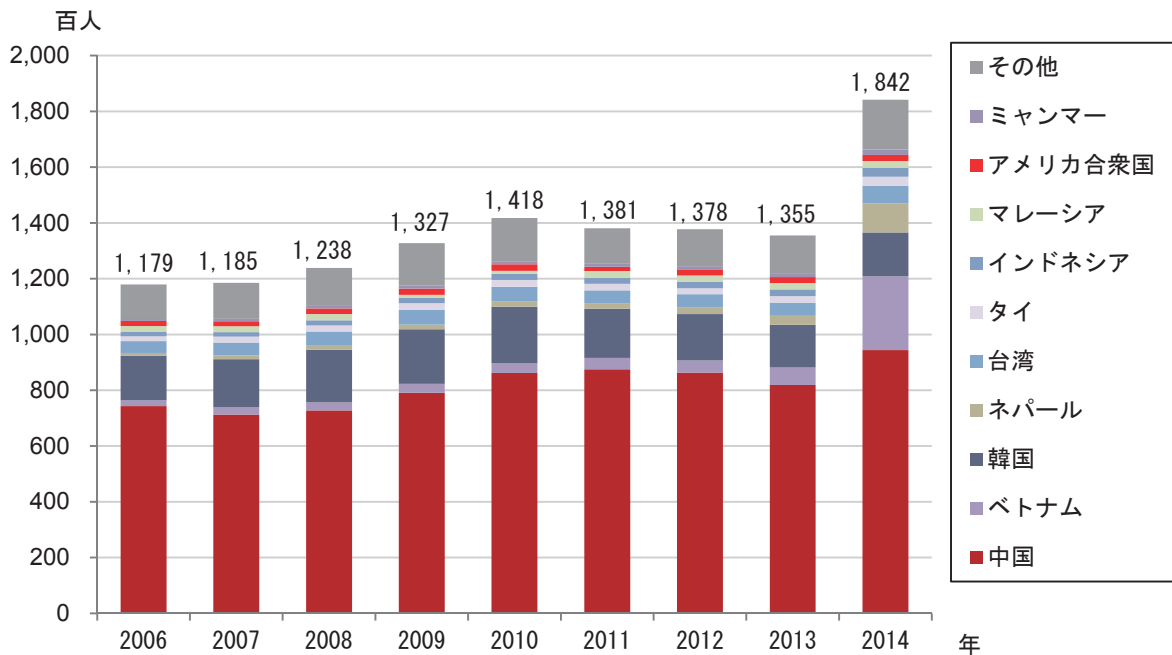
近年は増加傾向にあり、半数以上を中国、韓国・朝鮮が占めます。

2014年 在留資格別外国人数の割合



永住者が約3割を占め、特別永住者、留学が続きます。

外国人留学生数の推移



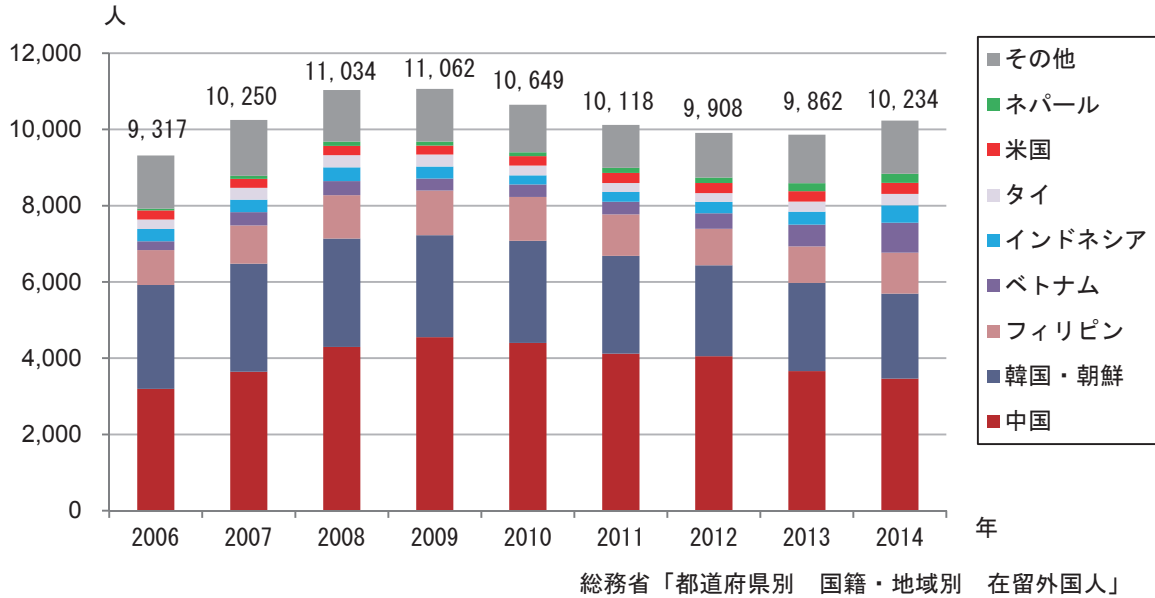
※2014年は44,970人の「日本語教育機関」の数字が含まれています。

独立行政法人 日本学生支援機構

近年は大きく伸びており、中国からの留学生が最も多くなっています。

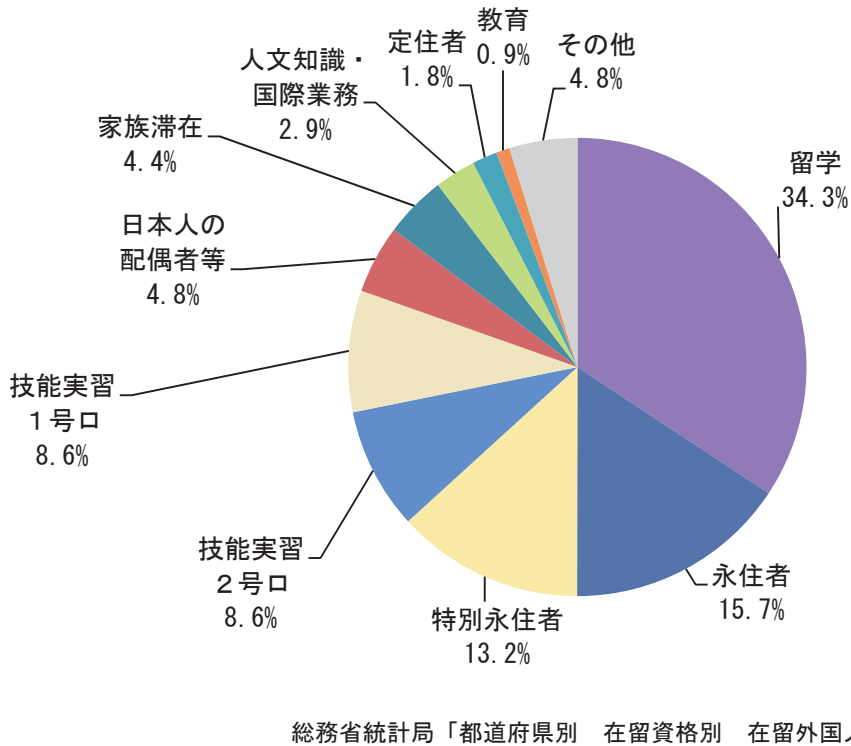
## 4. 大分県に住む外国人数

大分県に住む外国人数の推移



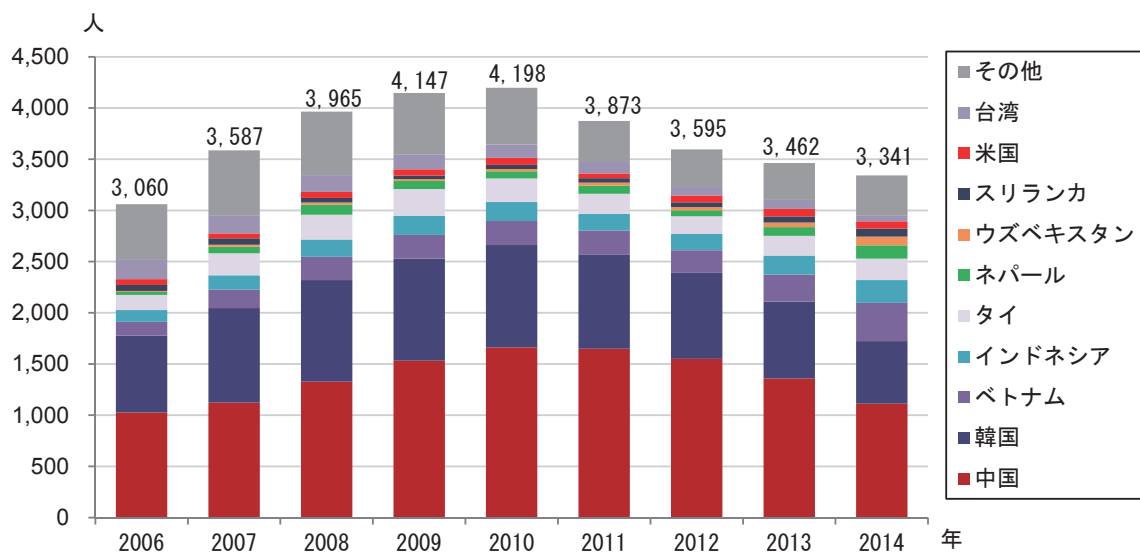
2009(平成21)年以降減少傾向にありましたが、2013(平成25)年以降徐々に増加しています。

2014年 大分県の在留資格別外国人数の割合



「留学」が最も多く全体の3割以上を占めます。次いで、「永住者」「特別永住者」が続きます。

## 外国人留学生数の推移

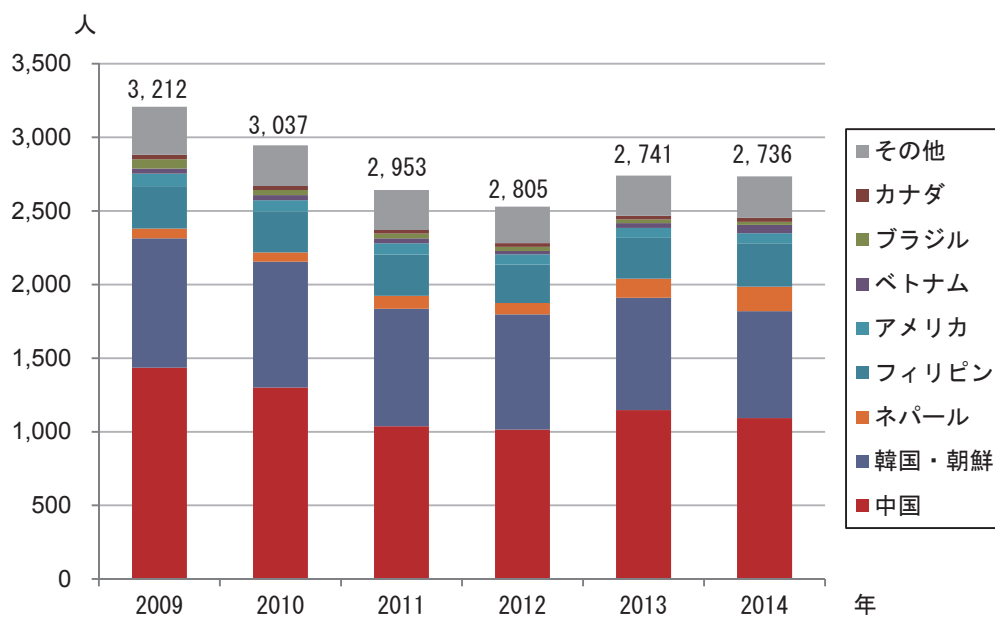


日本学生支援機構「留学生調査」

2010(平成22)年をピークに減少しています。国別では中国・韓国が減少する中、ベトナムが増加しています。

## 5. 大分市に住む外国人人数

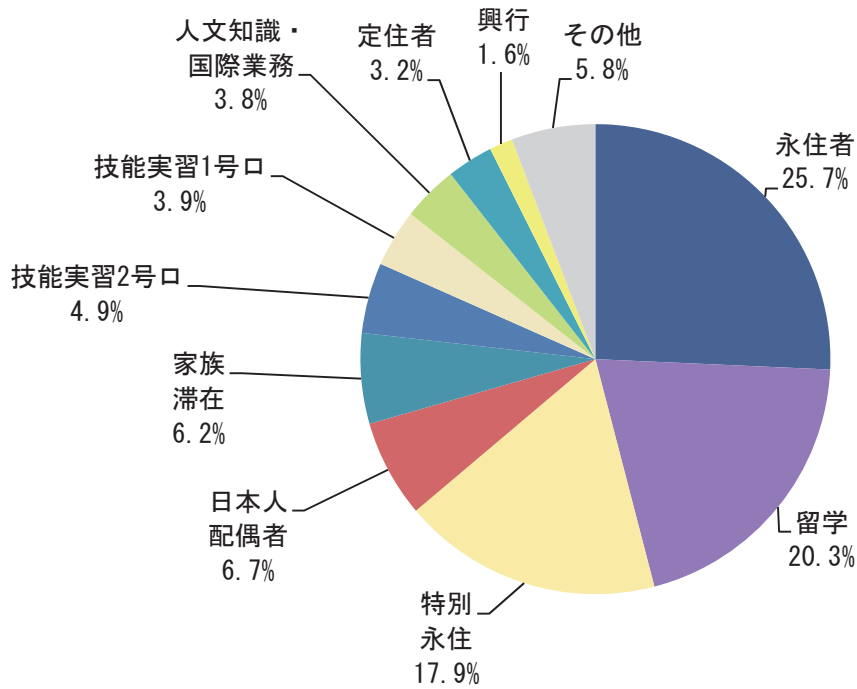
### 大分市に住む外国人人数の推移



大分市住民基本台帳

2009(平成21)年以降、一貫して減少していましたが、2013年から停滞傾向にあります。

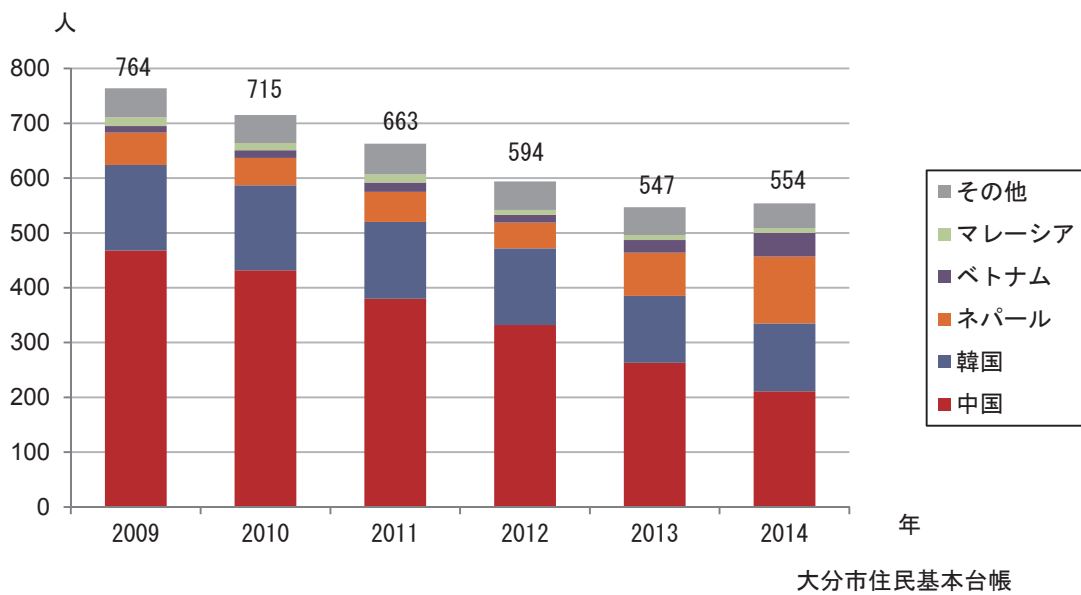
大分市の在留資格別外国人数の割合



大分市住民基本台帳2014（平成26）年

「留学」の割合が20%と、全国の10.4%に比べ高くなっています。

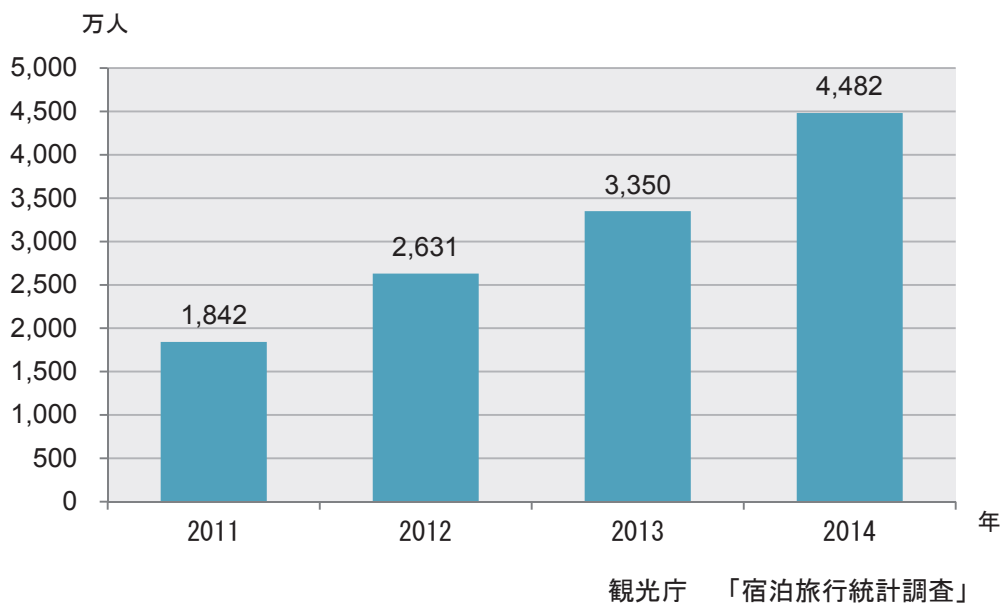
大分市の外国人留学生数の推移



アジアからの留学生が大部分を占めますが、近年は停滞傾向にあります。

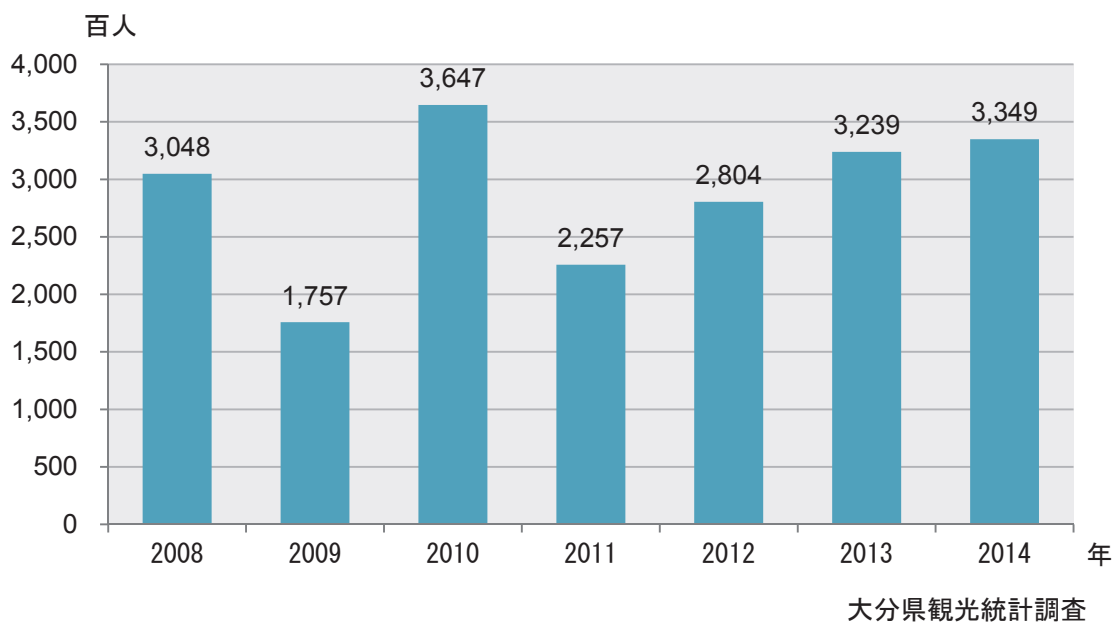
## 6. 日本、大分県、大分市の外国人宿泊客数

### 日本の外国人宿泊客数



近年は急激に増加しており、3年間で2倍以上になっています。

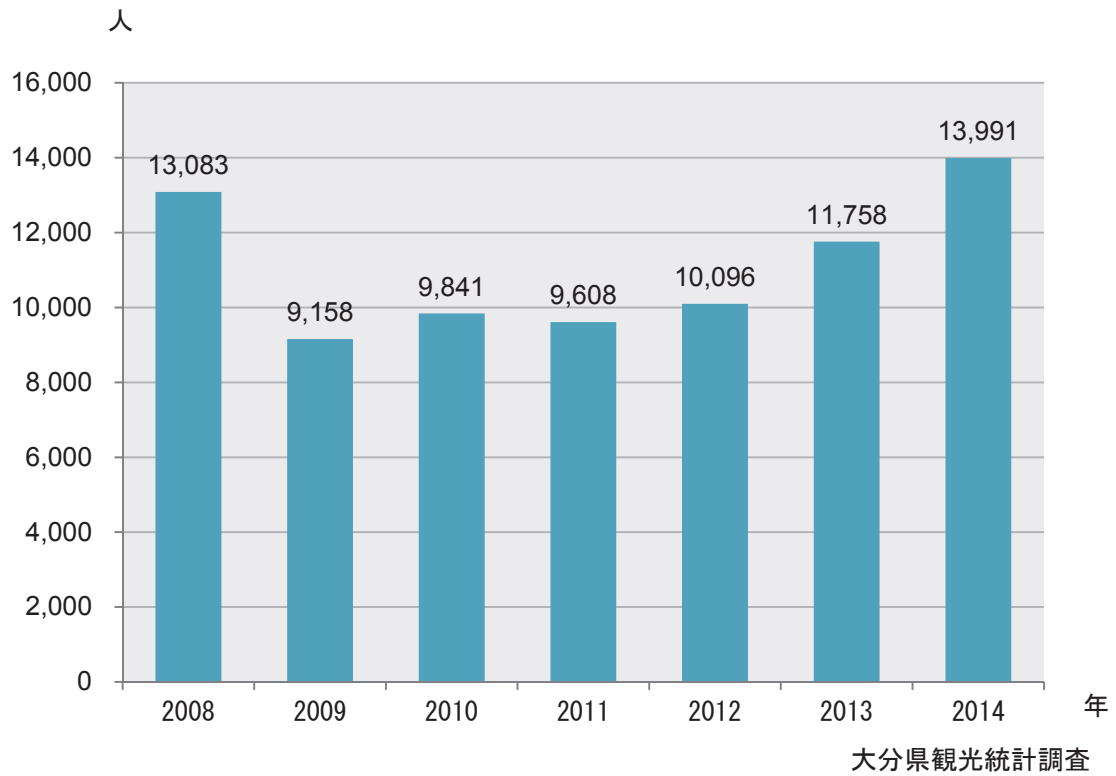
### 大分県の外国人宿泊客数



新型インフルエンザ(2009年)や東日本大地震(2011年)などの影響などから減少している年もありますが概ね30万人を超えており、2015(平成27)年には過去初めて50万人を超えます。



## 大分市の外国人宿泊客数



新型インフルエンザなどの影響で2009(平成21)年に落ち込んだものの、その後、増加傾向にあります。